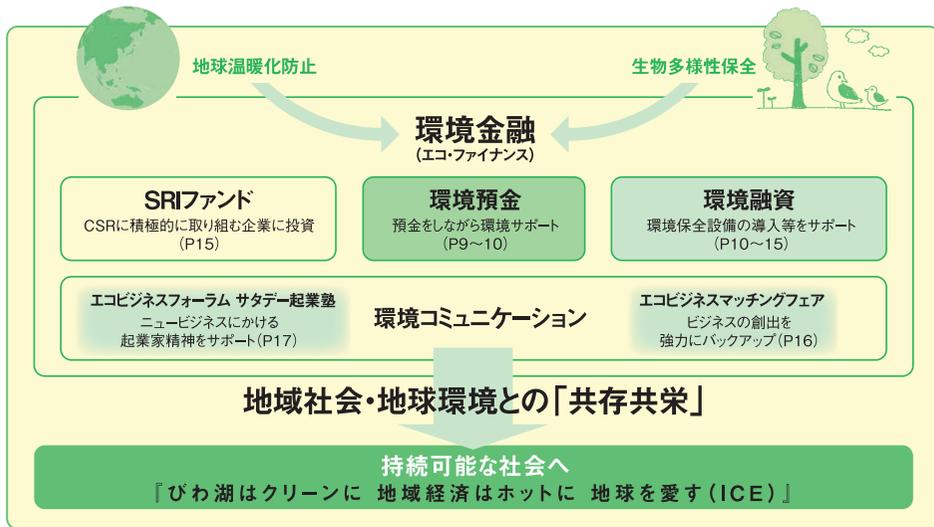




# お金の流れで地球環境を守る

- 経済の血液である「金融」の役割を通じ、持続可能な社会づくりに貢献できる可能性は、ますます拡大しています。当行は、環境対応型金融商品・サービスの開発、提供など、
- お金の流れで地球環境を守る「環境金融」を実践しております。



## 日本環境経営大賞「環境経営パール大賞」を受賞

2010年6月、「第8回日本環境経営大賞(主催:日本環境経営大賞表彰委員会、三重県)」において、「環境経営パール大賞」を受賞しました。さまざまな環境対応型金融商品・サービスの開発、提供により、金融機関としての役割を通じて地球環境保全に貢献してきたこと、また、地域と連携しながら「環境金融」を実践していることなど、成果の積み上げが極めて顕著なものであるとして、高く評価されました。



## 低炭素杯 2011「審査員特別賞」を受賞

2011年2月、東京大学安田講堂で、「ストップ温暖化大賞—低炭素杯 2011—低炭素地域づくり全国フォーラム」(主催:低炭素地域づくり全国フォーラム実行委員会)が行われ、「審査員特別賞」を受賞しました。

当行は、低炭素社会の構築に向けて、お客さまと手を携えて実践してきた「環境金融」の環の拡がりについて、「しがぎん琵琶湖原則」の取り組みを中心に紹介しました。

低炭素杯



## テレビCMが第14回環境コミュニケーション大賞で優秀賞を受賞

当行のテレビCM「陶芸家・中野君」篇が「第14回環境コミュニケーション大賞(主催:環境省ほか)」テレビ環境CM部門で優秀賞を受賞しました。

テレビCMでは、中野さんの「この土地でしかできないものが生まれる」の言葉と子どもたちのいきいきとした表情とともに、「滋賀ならではの自然、琵琶湖の素晴らしさを“未来”に伝え残していく」とのメッセージを発信。当行の環境金融、環境経営に取り組む思いをお伝えしています。



## 「学校ビオトープ」で環境学習 「エコプラス定期」

エコプラス定期は、当行創立70周年を記念して2003年より取扱開始。お客さまが当行のダイレクトチャネル(ATM、電話、インターネット)を利用して定期預金をしていただくと、1回のお預け入れごとに7円(ダイレクトチャネル利用で不要となる申込用紙代相当額)を当行が負担して積み立て、滋賀県内の小学校の「学校ビオトープ」づくりの資金として拠出させていただいております。



電王町立電王小学校

近江商人の「三方よし」の考え方で商品企画



## 「環境学習の実践の場」としてご活用いただいています

2006年度以降の助成校累計は、20校で総額954万円にのびります。

2011年度「学校ビオトープ」助成校

- ①長浜市立北郷里小学校 ②守山市立河西小学校 ③東近江市立湖東第二小学校 ④日野町立桜谷小学校

## 2010年度「学校ビオトープ」助成校



東近江市立八日市南小学校



大津市立膳所小学校



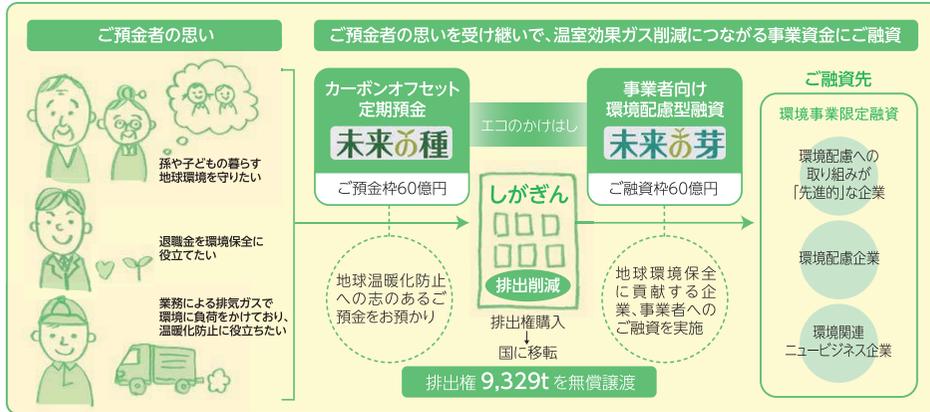
電王町立電王小学校



# お金の流れで地球環境を守る

- 「地球温暖化防止への思いが込められたご預金を原資に、
- 温室効果ガス削減に取り組まれる事業者へご融資する」、
- まさに「お金の流れで地球環境を守る」という当行独自の「環境金融」を実践しております。

## 預金と融資を地球環境保全で結ぶ ～未来の「種」から「芽」へ～



## 未来の地球を守る種まき ～カーボンオフセット定期預金「未来の種」～

お客さまからお預け入れいただいた定期預金の金額に応じ、当行が費用を負担して温室効果ガス排出権を購入する「カーボンオフセット定期預金「未来の種」」の取り扱いを、2008年4月、国内の金融機関で初めて開始しました。

**お客さまの反応**  
京都議定書の5年間(2008年～2012年)に合わせた預け入れ期間の長さに戸惑われることもありましたが、地球温暖化防止に込めた当行の思いをご説明すると、ご賛同いただけるお客さまも多く、環境意識の高い個人のお客さまを中心にお預け入れいただきました。

2010年度も、お預け入れ残高の0.1%分として排出権2,765tを購入し、初年度分から累計で9,329tの排出権を国に無償譲渡しました。

## “未来の種”を育てます ～事業者向け環境配慮型融資「未来の芽」～

2008年7月には「カーボンオフセット定期預金「未来の種」」による、地球温暖化防止への思いが込められたご預金を、環境配慮に先進的な事業者の皆さまや、温室効果ガス削減への取り組みが必要とされる資金にご融資する「事業者向け環境配慮型融資「未来の芽」」の取り扱いを開始しました。



**用語解説**  
カーボンオフセット  
地球温暖化対策として、企業や消費者が排出した温室効果ガスの一部を排出権の取得や自然保護活動への協力等で相殺すること。

## 環境対応型金融商品 推進担当者の声

九条支店 西村 雄一  
お取引先の環境への取り組みは、日に日に活発化しています。省エネによるコスト削減、環境を切り口としたPR、他社との差異化、新たなビジネスの開拓など、多様化の一途です。その中で、私たち「しがざん」の営業担当者が持つ環境ビジネス情報や、ビジネスマッチング情報を活用していただき、また、環境投資に際しては、当行独自の環境対応型金融商品にて、お手伝いをさせていただきたいと考えています。

## 環境+防災意識の共有化と促進 「エコ&耐震住宅ローン」



「エコ&耐震住宅ローン」は、環境対応型住宅および耐震住宅の促進を目的に、同住宅を購入される場合に金利を引き下げたものです(2005年取扱開始)。  
太陽光発電システム導入住宅やエネルギー効率の高い住宅を普及促進することにより温室効果ガスの排出量を削減。また、滋賀県には琵琶湖西岸断層帯が存在しており、耐震住宅の建設を促進することにより、お客さまの生命や、財産を守るためのお役に立ちたいとの願いを込めています。  
加えて、省エネルギー住宅や耐震住宅へのリフォームをお考えのお客さまには「セレクトリフォームローン(エコ&耐震)」により、通常よりも低い金利に必要な資金をご融資いたします。



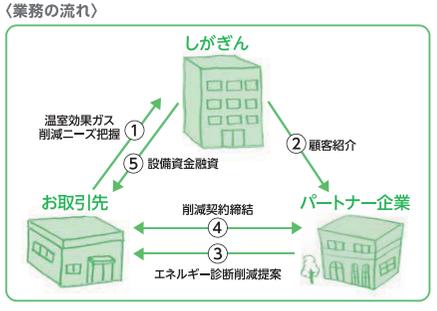
## Topics 「しがざん」みどりの贈り物 ～エコ・ファースト企業との連携～

環境経営に積極的に取り組むエコ・ファースト企業として、積水ハウス株式会社と連携し、2010年9月より、「しがざん」みどりの贈り物」の取り扱いを開始しました。これは、住環境における環境や生物多様性への配慮の浸透を目的としたものです。  
①積水ハウスの環境配慮型住宅「グリーンファーストモデル」を建築されるお客さまのうち、当行住宅ローン利用の方の金利を引き下げます。  
②積水ハウス「5本の樹」計画に加えて、当行より1本の苗木を進呈。



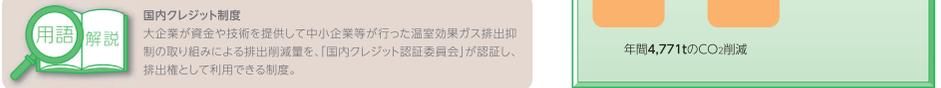
## 地球温暖化防止に向けた取り組みを支援 「温室効果ガス削減支援業務」

「温室効果ガス削減支援業務」として、ランニングコスト(光熱費)と温室効果ガスの削減につながる取り組みを支援しています(2009年2月取扱開始)。  
具体的には、温室効果ガス排出削減の必要性を認識されたお取引先の所有設備やエネルギー使用状況などを当行が把握し、削減ノウハウを有するパートナー企業にご紹介。当行はパートナー企業と共同で具体的な削減手法を提案し、削減に向けた設備投資に必要な資金をサポートします。  
本業務により、地域の金融機関として、地域社会の低炭素化に貢献するとともに、省エネ設備への投資を促進して地域経済の活性化を実現していきます。



## CO2の地産地消

政府が主導する「**試行排出量取引スキーム**」に目標設定参加者として参加しています。また、同スキームの「**国内クレジット制度**」に基づく温室効果ガス排出削減事業の共同実施者にも参加し、「**地元中小企業向けの環境対策支援サービス**」に活かしています。具体的には、繊維製品製造工場で実施する温室効果ガス排出削減事業の共同実施者となり、排出削減に協力し、将来的に当行が排出権を取得するものです。地元で発生した排出権を取得することで、**地域経済の活性化と地球規模での温暖化防止の両方に貢献できる取り組み**と考えています。





# お金の流れで地球環境を守る

- 当行は、「持続可能な企業と地域社会」の実現に向け、
- 地域と連携してお客さまの「環境経営」をサポートしています。

## しがぎん琵琶湖原則 (PLB 原則)

2005年12月取扱開始



お客さまと手を携え、琵琶湖をはじめとする地球環境保全への取り組みを一層促進させるため、「しがぎん琵琶湖原則 (PLB = Principles for Lake Biwa)」を策定し、賛同を広く呼びかけています。

### 賛同

賛同先数 **7,741**先

#### しがぎん琵琶湖原則 (PLB) の3原則

- 1 環境保全に役立つ生産・販売・サービス基準を策定します。
- 2 環境配慮行動とビジネスチャンスの両立をめざします。
- 3 環境リスクを軽減し、持続可能な地域社会を実現します。

## PLB 格付 (環境格付)

「しがぎん琵琶湖原則」にご賛同いただいたお客さまのうち、ご希望の方には「環境を主軸としたCSR経営に関する資料」に基づき、当行独自の「PLB格付 (環境格付)」を実施。環境経営に対する「気づき」のツールとしてご活用いただいております。

### 格付

格付取得先 **7,309**先

格付内容をオープンにして環境保全の取り組みを促進

#### 〈PLB 格付評価項目〉

ISO14001等の認証取得	省エネ・省資源への取組
環境会計導入	グリーン調達・グリーン購入の取組
土壌汚染、騒音、振動等への取組	コンプライアンスの推進部署の設置状況
環境に配慮した製品・商品の取扱	環境報告書の発行
法令遵守方針の策定	投資案件決定時の環境考慮対応
環境方針の策定	地球温暖化ガス(CO <sub>2</sub> )排出量削減への取組
環境保全のボランティア活動	リサイクルへの取組

## 琵琶湖原則支援資金 (PLB 資金)

環境保全に取り組みられるお客さまへのご融資では、「琵琶湖原則支援資金 (PLB資金)」により、PLB格付の取り組み度合いを反映して、最大で金利を年0.5%差し引かせていただいております。

### お借入

実行件数 **934**件

(賛同、格付、お借入の先数、件数は2011年3月末の実績数値)

エコ・アクションプラン    みずすましプラン    ISOプラン

省エネ・温暖化ガス削減プラン    土壌汚染防止プラン    リサイクルプラン

(6つの PLB 資金プラン)

#### 〈PLB 格付による金利引き下げ幅〉

PLB 格付	格付評価	金利引き下げ幅
L1	取り組みが先進的	0.5%
L2	取り組みが十分	0.4%
L3	取り組みが普通	0.3%
L4	今後の取り組みに期待	0.2%

(注) L5に格付された場合はPLB資金をご利用いただけません。



## PLB資金 (環境省利子補給活用プラン) ~「持続可能な社会と環境づくり」を促進~

環境省の利子補給制度を活用し、地球温暖化対策をサポートする、「琵琶湖原則支援資金 (環境省利子補給活用プラン)」を2009年10月から、取扱開始しました。

### 融資条件

- 1 CO<sub>2</sub>排出量を3年以内に6%削減
- 2 環境格付で一定以上の評価
- 3 地球温暖化対策にかかる設備投資

3年間の利子補給 (2%上限)

### 環境格付の取扱金融機関

2005年 **2**行  
2011年7月現在 **63**行

当行の「PLB格付」が、本プランの環境格付モデルになりました!

地球環境保全の「環」の拡がり

## 「生物多様性格付 (PLB 格付 BD)」 ~生物多様性保全の普及、啓発を願い~



「生物多様性格付 (PLB 格付 BD)」は、お取引先の皆さまが、生物多様性の保全に対して、具体的な行動を促す「道しるべ」となるよう、当行が開発した独自の評価指標です。生物多様性格付を環境格付と別立てとして公表するのは、全国の金融機関で初めての取り組みです (2009年11月運用開始)。

本取り組みは、格付の趣旨である「豊かな生物多様性の継承と自然共生社会の構築」に賛同され、格付の取得を希望される方を対象に、「生物多様性配慮」について測定・評価。

PLB 格付 BD で一定以上の評価を取得いただくと、PLB 資金の融資金利と合わせ最大で年0.6%の引き下げが可能となります。

#### 〈生物多様性格付評価指標〉

分野	評価指標 (概要)
経営方針	1. 「生物多様性保全」方針の策定状況
推進・管理体制	2. 推進・管理体制の構築状況
活動の実施	3. 影響の考慮と低減・回避のための行動の有無
	4. ビジネスの中への組み込み状況
	5. 自然再生や伝統文化保全の活動への貢献度合
	6. 専門的な知識を有する研究機関等との連携状況
普及啓発・活動の公表	7. 社員や取引先に理解を深める機会の設定状況 8. 活動や成果の公表状況

### 金融機関初!



地球のいのち、つないでいこう

生物多様性

用語解説

BD=Biodiversity (生物多様性)  
「地球では、さまざまな生きものがつながりあい、支えあって生きており、その「多様性」を指標にして多様な価値を守っていく」という概念。

お客さまの声  
生物多様性の重要性は理解できても、何に取組みのよいか分からない?

#### 〈PLB 格付 BD による金利引き下げ幅〉

PLB 格付 BD	PLB 金利引き下げ幅	BD 金利引き下げ幅	合計金利引き下げ幅
L1+	0.5%	0.1%	0.6%
L2+	0.4%	0.1%	0.5%
L3+	0.3%	0.1%	0.4%
L4+	0.2%	0.1%	0.3%

PLB格付BDの格付取得先 **1,760**先

(先数は2011年3月末の実績数値)

### 賛同

1 「豊かな生物多様性の継承と自然共生社会の構築」に賛同

### 格付

2 PLB格付BDを取得

### お借入

3 PLB資金の融資金利と合わせ最大で年0.6%の引き下げ可能

本格付を、生物多様性保全の重要性について意識を高める「気づき」のツールとして、また、企業活動に積極的に環境マネジメントを取り入れるための「きっかけ」として幅広くご利用いただけることを願っています。

### PLB格付BD 推進担当者の声



八幡支店 片岡 達郎

「生物多様性って何?」と、お客さまからよく質問をいただきます。それに対して、「生きものたちの豊かな個性とつながり」であることを説明させていただき、お客さまと情報交換をする中で、お客さまの「生物多様性の保全」に対する関心が非常に高いことに何度も感動しました。今後もお客さまのお役に立てるように有意義な提案を行ってまいります。



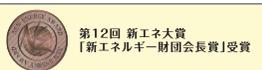
太陽光発電システムの導入と生態系の保全 「カーボンニュートラルローン 未来よし」



「カーボンニュートラルローン 未来よし」は、自然エネルギーの導入促進、琵琶湖の環境と生態系の保全を目的とするサービスです(2007年4月取扱開始)。

当行の環境対応型融資商品の利用を通じて「太陽光発電システム」等を導入された場合、削減された温室効果ガスの量を当行が推計し、排出権取引価格を参考に金額換算、琵琶湖の固有種「ニゴロブナ」と「ワタカ」の保護・育成・放流事業に資金を拠出し、放流しています。

なお、各商品で適用される金利プランからさらに年0.1%の金利を差し引くことで、環境保全に「志」のあるお客さまをサポートしています。



用語解説
カーボンニュートラル
日常生活や事業活動に伴って発生する温室効果ガスを、植林や自然エネルギーの導入などにより実質的にゼロに近づける取り組み。

カーボンニュートラルローン 未来よし プロジェクトの流れ

自然エネルギー導入



お客さま

融資

CO2削減量



しがぎん

放流資金提供

琵琶湖の環境と生態系保全の「いきものがたり」活動

生物多様性の保全



ニゴロブナ

湖国の食文化の保全



「ふなずし」



ワタカ

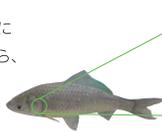
水草の異常繁茂を防止



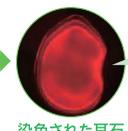
体重100gのワタカは、夏場に1日約30gの水草を食べます。

連携 ●滋賀県農政水産部 ●財団法人滋賀県水産振興協会

放流する「ニゴロブナ」は、内耳の「耳石」に特殊な色素で染色し、識別できることから、一定期間後にサンプリング(捕獲)して繁殖状況などを調査します。



耳石



染色された耳石

しがぎんが放流するニゴロブナのしるしとして、3種のリングマークをつけています

(写真提供：滋賀県水産試験場)

琵琶湖の固有種で絶滅危惧種のニゴロブナ・ワタカを放流



2007年度から総額700万円を財団法人滋賀県水産振興協会が実施する琵琶湖の生態系保全事業に寄贈。

これはニゴロブナ177,550匹、ワタカ95,000匹相当になります。

放流するニゴロブナは、1年間養殖し体長約12cm程度になった未成年で、役員ボランティアの「元気に育って」という掛け声のもと、一斉に琵琶湖に放流しました。



『しがぎん』成長基盤強化応援ファンド

NEW

経済の成長基盤強化に向けた取り組みを行うお客さまを対象とした『しがぎん』成長基盤強化応援ファンドを、2010年8月に設立しました。本ファンドは、日本銀行が行う「成長基盤強化を支援するための資金供給」の対象金融機関として当行が参加しており、成長分野への取り組みを強化されるお客さまへ資金供給することを通じて地域経済の発展に貢献することを目的としています。

お使いみち

- 環境・エネルギー事業
地域再生・都市再生事業
医療・介護・健康関連事業
観光事業など、18分野の事業資金
研究開発
起業
高齢者向け事業
高年齢者向け事業

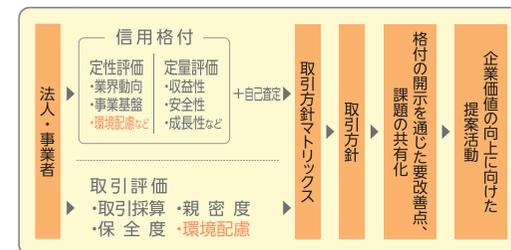
「企業格付制度」は「環境」も視野に

当行では、CSRの側面も加味した、「企業格付」を実施しています。

「企業格付」では、環境保全に熱心なお取引先の活動を取引評価ならびに信用格付に反映させるため「環境配慮評価項目」を設けています。

また、この格付制度を、お取引先の企業価値向上に向けた提案や親身なソリューション活動を充実させるための「コミュニケーションツール」として活用し、「知恵と親切を提供するビジネス」を展開しています。

企業格付制度



豊富なSRIファンドラインナップ

環境問題や法令等順守、社会的責任への取り組みが高いと評価される企業や取り組みに投資する投資信託商品、SRI (Socially Responsible Investment: 社会的責任投資) ファンドを豊富に取り扱っています。

〈SRIファンドラインナップ〉

Table with columns: 投資対象, ファンド名, 国内株式, 外国株式, その他

SRIファンドへの組み入れ

当行は、英国の新聞フィナンシャル・タイムズとロンドン証券取引所の合弁会社であるFTSE社の「FTSE4Good Global Index」の構成銘柄に8年連続で選ばれています。

「FTSE4Good」指数シリーズは、世界で最も注目されているSRI株価指数の1つで、環境・社会・人権など、世界的に認められた「企業の社会的責任基準」を満たした企業により構成されています。

また、投資信託情報などを提供するモーニングスター株式会社が組成・管理する「モーニングスター社会的責任投資(SRI)株価指数」の構成銘柄にも9年連続で選ばれています。



「UNEP金融機関声明」に署名

国連環境計画(UNEP)が提唱している「環境と持続可能な発展に関する金融機関声明」に市中央銀行で初めて署名しています(2001年)。

当行では「環境経営」を展開し、「金融機関声明」の精神の実現に努めています。

